

別添

講義実施計画（シラバス）

科目名英字 General information (Global economy)

授業のねらい及び到達目標

アジアを単一に捉えるのではなく、その多様性を理解すると共に、気候・風土・経済基盤を共通とする小地域とそうした小地域の中で創成された地域機構成立の背景、目的を押さえ、アジア共同体の創成を構想する視点を持ちながら、その中で主要国と日本との関係を学習することを目的とする。

学習内容

日本との関係は、両国の貿易関係、日本からの投資状況を中心に、必要に応じ、各国との関係で特記すべき事項（エネルギー・資源関係等）を取り上げる。講義は内部講師と外部講師により実施するが、外部講師には海外の研究者、日本在住の研究者・識者を起用する。

授業内容のレベル、関連科目

アジアの多様性と繋がりについて、平易に説明する。日頃から国際関係のニュースに目を通しておくことが望ましい。

授業外学習（予習・復習）

事前学習：次回の授業で扱うキーワードが明示されている場合は、参考書等の該当箇所を通読すること。
事後学習：授業時に配布した資料について振り返りをおこなうこと。

使用テキスト プリント等、適宜資料を配布する。

参考書、その他教材 参考文献・資料などについては、適宜授業内で紹介する。

成績評価方法・基準

定期試験の成績50%、平常点50%の総合評価とする。
平常点は受講態度、適宜提出する小レポート等を加味して評価する。

授業の形式・計画

	期日	授業内容	担当者	区分
第1回	9月18日	国際社会におけるアジアの位置と域内多様性	柴山信二郎	帝京平成大学
第2回	9月25日	タイはどんな国	柴山信二郎	帝京平成大学
第3回	10月2日	石油大国サウジアラビアと日本の関係	須藤繁	帝京平成大学
第4回	10月9日	サウジアラビアとはどんな国	イサム・ブカーリ（サウジアラビア大使館）	外部講師
第5回	10月16日	アジアから見た日本	ジェム・アルデミル（トルコ航空）	外部講師
第6回	10月23日	マレー・イスラーム世界①	Muhammad-Ayub Pathan	海外招聘
第7回	10月30日	マレー・イスラーム世界②	原 新太郎	海外招聘
第8回	11月6日	ブータンの文化と社会（文化財建築の観点から）	向井 純子	海外招聘
第9回	11月13日	ブータンの自然と環境対策	Phuntsho Tshering	外部講師
第10回	11月20日	ブータン・SARRC諸国と環境・貧困問題	小森次郎	帝京平成大学
第11回	11月27日	南アジアの中心であるインド	江田 仁	帝京平成大学
第12回	12月4日	イギリスの外交政策とアジア	一柳 峻夫	帝京平成大学
第13回	12月11日	エネルギー供給源としての中東	須藤繁	帝京平成大学
第14回	12月18日	まとめ①（アジア共同体創成の可能性）	柴山、須藤、小森	帝京平成大学
第15回	1月8日	まとめ②（アジア共同体創成の可能性）	ワンアジア財団理事長	外部講師

なお、招聘講師・外部講師の状況等により、講義の順番を入れ替える等のあることがある。